

CADDポンプ チェックリスト

【 】 ポンプ準備 編

- 1: 物品の確認ができる		有無	数量
	CADD Legacy PLUS ポンプ		ケ
	専用ポンプケース (青色の箱、1台/1箱)		ケ
	保護カセット (ポンプ底部に装着されているもの)		ケ
	コールドポーチ		ケ
	保冷剤		ケ
	ACアダプタ		ケ
- 2: 使用前のポンプチェックができる		良	不良
1	外観 機器の外観に破損や損傷がない 機器底部のセンサ部に破損や損傷がない		
2	電池挿入部 バッテリーのふたに損傷や破損がなく、脱着が問題なくおこなえる バッテリー端子の変形、脱落がなく汚れていない バッテリー取り外し用の黄色いリボンが脱落していない		
3	止めネジ (ポンプ側面のカセットロック部分) カセット又は保護カセットを取り付けてコインで時計と反対方向に90度回します 動きがスムーズである カセットが機器に確実に固定されている カセット固定時、止めネジの溝がLOCKEDの矢印方向に向いている		

4	キーパッド(操作盤)		
	キーパッド(操作盤)のキー(ボタン)を押す感触があり平坦になっていない		
5	パワーアップチェック 電池をポンプに取り付けセルフテスト時に確認します		
	電源がonになる		
6	液晶ディスプレイ		
	液晶ディスプレイが全点灯した時、欠損部分がない		
7	エラーメッセージの確認		
	LEC(ラストエラーコード)が表示されない		
	エラー(Error)メッセージが表示されない		
	セルフテストが正常に終了し「ストップ」が表示される		

【 】 ポンプ・薬液の準備・設定・ポンプ後片付け編

- 1: 必要物品の準備ができる

実施日 / / / / / / / /

1	CADD-Legacy PLUS ポンプ								
	単三アルカリ乾電池 2本								
	Medikationカセット								
	エクステンションセット(交換時)								
	コイン								
	注射針								
	注射器(シリンジ)								
	フローラン、フローラン用注射溶解液、消毒								

- 2: 薬液の溶解ができる

* 使用する前に注射器・溶解量は医師の指示に従い実施してください

実施日 / / / / / / / /

- 3: 溶解した薬液を Medikationカセットに注入できる

実施日 / / / / / / / /

1	溶解した薬液をきちんと計測して注射器に準備できる								
2	注射器の針と、 Medikationカセット(以下、カセット)のチューブ端の保護キャップを外しチューブと注射器先端が不潔にならないように接続できる								
3	カセットのクランプを開き、注射器の内筒に触らないように薬液をゆっくり注入できる								
4	カセット内の気泡を除去できる								
	・予定注入量が残り約10mLのところ(100mLの場合、90mL注入時)、カセットをゆっくり回しながらカセット内の大きな気泡で小さな気泡を集める								
	・カセットを傾け集めた気泡をカセットの薬液の出入り口に集め、注射器をゆっくりと引き空気を抜く								

		実施日	/	/	/	/	/	/	/
5	注射器の残りの薬液をカセットに注入できる								
	・注射器を下向きにし注射器内に残った薬液をカセット内へすべて注入する								
	・カセットのクランプを閉じて注射器を外し、カセットのチューブ先端が不潔にならないように赤いキャップを装着する								
6	空気が抜けているか確認できる								
	・カセット内に小豆大以上の空気を残さない								
	・カセット上部のチューブにも小豆大以上の空気を残さない								
7	薬剤に添付されたシールに必要な事項を記入し、カセットに貼付できる								
- 4: 新しい薬液を注入したカセットを替えのポンプに装着できる									
		実施日	/	/	/	/	/	/	/
1	ポンプに装着されている保護カセットを外せる								
	・ポンプ側面の止めネジにコインを差込み、時計回りに90度回す								
2	カセットを替えのポンプに装着できる								
	・カセットのフックをポンプ底面のピンにかける								
	・テーブルなどの平面にポンプを置き、ポンプ本体上部を押さえる								
	・止めネジにコインを差込み、時計と反対方向に90度回す								
- 5: ポンプの設定入力ができる									
		実施日	/	/	/	/	/	/	/
1	ポンプの電源を入れることができる								
2	ポンプの設定方法・設定確認方法が分かる								
	・「スクロール」ボタンで設定画面を表示し、矢印ボタンで設定入力後「入力/リセット」ボタンで設定内容を確定できる								
3	薬液容量の設定ができる								
	・「スクロール」ボタンで「リザーバヨウリョウ」を表示 矢印ボタンで設定「入力/リセット」ボタンで確定								
4	持続投与速度の設定ができる								
	・「スクロール」ボタンで「トウヨソクド」表示 変更がない場合は設定内容の確認								

実施日		/	/	/	/	/	/	/
5	投与された薬液量を0.00に戻す事ができる ・「スクロール」ボタンで「トウヨズミ」表示 矢印ボタンで設定 「入力/リセット」ボタンで確定							
6	キホウケンチの設定内容の確認ができる ・「スクロール」ボタンで「キホウケンチ」表示 内容確認							
7	アップストリームセンサの設定内容の確認ができる ・「スクロール」ボタンで「アップストリームセンサ」表示 内容確認							
8	初期画面にもどせる ・「スクロール」ボタンで「ストップ」画面を表示できる							
9	設定した内容を表示画面で確認後、初期画面にもどせる ・「スクロール」ボタンで画面表示を確認できる ・確認後、初期画面「ストップ」にもどせる							
- 6: 2通りのカセット交換が出来る * 交換は医師の指示に従い実施してください								
(1) 通常(メディケーションカセット)のプライミング(= 空気抜き)が出来る								
実施日		/	/	/	/	/	/	/
1	カセットのクランプを外し、「プライム」ボタンをバーが三本出るまで長押しできる							
2	「プライム」ボタンを押し続け、チューブ内の空気を除去し、かつ薬液を先端まで満たす事ができる(操作中「プライムチュウ」と表示される。ボタンから手を離すか、1.0mL送液するとプライミングが一時停止するので、継続する)							
(2) フィルタ付きエクステンションセット交換時のプライミング(= 空気抜き)が出来る								
実施日		/	/	/	/	/	/	/
1	新しい薬液を注入したカセットに、新しいフィルタ付きエクステンションセットを正しい向きに接続できる (フィルターから離れたチューブ端をカセットのチューブ端に接続)							
2	カセットとフィルタ付エクステンションセットの空気抜きができる エクステンションセットとカセットのクランプを開き「プライム」ボタンをバーが三本出るまで長押しして手を離す 「プライム」ボタンを押し続け、チューブ・フィルター内の空気を除去し、且つ薬液を先端まで満たすことができる							

- 7 :新しいポンプをスタートさせる事ができる								
実施日								
/ / / / / / / /								
1	「停止/作動」ボタンをバーが三本消えるまで長押しできる							
2	表示画面でポンプがスタートした事を確認できる(ドウサチュウ リザーバー)							
- 8 :使用中のポンプを新しいポンプと交換できる								
実施日								
/ / / / / / / /								
1	体内カテーテル・エクステンションセット・ Medikationカセットの全てのクランプを閉じる事ができる							
2	使用中のエクステンションセットとカセットの接続部を不潔にならないように外し、消毒しよく乾かすことができる (エクステンションセット交換時は、体内カテーテルとエクステンションセット接続部を外す)							
3	替えのカセット先端のチューブのキャップを外し、消毒したエクステンションセットの先端にしっかりと接続できる (エクステンションセット交換時は、体内カテーテル先端に新しいエクステンションセットを接続)							
4	体内カテーテル・エクステンションセット・カセット全てのクランプを開き、送液がされていることを確認できる							
- 9 :使用していたポンプの片付けができる								
実施日								
/ / / / / / / /								
1	「停止/作動」ボタンを長押しして、ポンプを停止できる (このとき「ストップ」画面が表示される)							
2	「ON/OFF」ボタンの長押し、または電池を抜いてポンプの電源を切ることができる							
3	使用していたカセットを外して保護カセットを装置し、専用のケースへ保管する事ができる							

- 10 :その他:ポンプの設定変更方法がわかる *医師の判断のもと、必要時にご使用ください								
【ロック機能について理解できる】								
		実施日	/	/	/	/	/	/
1	ロックレベルについて理解できる ・装置の誤操作を防ぐために、プログラムに鍵を掛けて変更できなくする仕組み							
2	ロックレベルは3段階あることがわかる ・LL0は、全ての操作(設定)ができる ・LL1は、LL0で設定した範囲内でのプログラム変更と、プライミング(空気抜き)ポンプのスタート・ストップができます ・LL2は、ポンプのスタート・ストップができます							
3	ロックレベルの変更方法がわかる ポンプが停止している状態 = 「ストップ」画面表示状態で「ロック」ボタンを押す 現在のロックレベル表示 矢印ボタンで希望するロックレベルの選択 「ロック」ボタンを押す 「アンショウコード 0」と表示 矢印ボタンで暗証番号を入力 「ロック」ボタンを押す(設定・変更終了) 終了後、「ロック」ボタンを押し設定内容を確認する (暗証コード・CADD legacy PLUS6500 = 65)							
【バイオメットファンクションについて理解できる】								
		実施日	/	/	/	/	/	/
1	バイオメットファンクション機能で変更できる3つのモードが分かる ・気泡センサ・フローラン療法では多くの場合offで使用(主治医に確認) ・アップストリームセンサ・フローラン療法では、多くの場合offで使用 ・投与モード(持続/間歇モード)・フローラン療法の場合、必ず持続投与モードで使用							

実施日		/	/	/	/	/	/	/
2	バイOMETTファンクションの設定変更ができる							
	設定変更する項目の画面を表示できる							
	ポンプが停止している状態 = 「ストップ」画面表示状態で「ロック」ボタンを2回押す 「アンショウコード 0」表示 矢印ボタンで暗証番号を入力 「ロック」ボタンを押す 「キホウケンチ」画面表示(以後、画面表示は「スクロール」ボタン) (暗証コード・CADD legacy PLUS6500 = 165)							
	気泡センサの設定変更ができる							
	「キホウケンチ」画面表示から矢印ボタンでセンサを選択 「入力/リセット」ボタンで確定 「スクロール」ボタンを押す 「アップストリームセンサ」画面表示バイOMETTファンクションの設定変更ができる							
	アップストリームセンサの設定変更ができる							
	「アップストリームセンサ」画面を表示し、矢印ボタンでOn/Off を選択 「入力/リセット」ボタンで確定 「スクロール」ボタンを押す 「トウヨモード」画面表示							
	投与モードの設定ができる							
	「トウヨモード」画面を表示し、矢印ボタンで投与モード を選択 「入力/リセット」ボタンで確定 「スクロール」ボタンを押す 操作継続か終了の画面表示 設定完了の場合、「入力/リセット」ボタンを押す 「ストップ」画面に戻る							
3	設定を変更しない項目は、「スクロール」ボタンで画面を切り替える事ができる							

【 】 使用中の注意編

- 1 : ポンプ作動中の電池交換ができる

		実施日	/	/	/	/	/	/	/
1	「デンチギレ」のアラームが発生したら電池交換が必要なのがわかる								
2	新しいアルカリ乾電池を2本準備できる								
3	作動中のポンプの「停止/作動」ボタンを長押ししてポンプを停止させ、電池を交換できる								
4	「停止/作動」ボタンを長押ししてポンプを再スタートできる								
5	画面表示でポンプが作動している事を確認できる (画面表示「リザーバ ヨウリョウ …mL」)								

- 2 : アラーム発生時の対処方法がわかる (アラーム表示の意味を理解し、対処することができる)

		実施日	/	/	/	/	/	/	/
1	アラーム発生時に画面表示でアラーム内容を確認できる								
	・「カセットナシ クランプカクニン」 カセットが外れました								
	・「カセットナシ ドウサフノウ」 カセットを付けずにスタートしました								
	・「キーガオサレテマス ハナシテクダサイ」 いずれかのキー(ボタン)が押されています								
	・「コウアツアラーム ハイソクアリ」 投与ラインの閉塞です								
	・「デンチギレ」 電池が消耗してきました (電池を交換します)								
	・「デンチフリョウ」 電池が消耗しました (ポンプが停止します)								
	・「デンチハズレ ドウサフノウ」 AC電源で使用中に電池が外されました								
	・「ドウサチュウ リザーバ LOW」 薬液残量が減ってきました								
	・「ドウサデンアツ テイカ」 ポンプ作動中に電池が外されました								
	・「リザーバヨウリョウ ヤクエキナシ」 設定したリザーバ容量がゼロになりました								

実施日		/	/	/	/	/	/	/
2	スクロールボタンで消音できる							
3	アラーム対処後、「停止/作動」ボタンを長押しして、ポンプを再スタートできる							
4	不明な表示内容は、「アラーム一覧表」もしくは「ユーザーズマニュアル」で確認して対処できる							
5	どうしても対応出来ない場合の対処方法がわかる ・在宅医療サービス会社の24時間対応窓口へ電話相談する ・必要時受診する							

- 3 :シャワー時の取扱い方法がわかる

実施日		/	/	/	/	/	/	/
1	エクステンションセットのフィルタを、ビニールや料理用のラップで軽く包み保護できる							
2	シャワー時はポンプを浴室の外に出す ・無理な場合、ジッパー付のビニールの袋などに入れてドアの取っ手などにフックを取り付けて、バックをつるす (この時、エクステンションセット先端とカセットの高さが120cm以上にならない)							
3	エクステンションセットはシャワー中に引っ掛けてカテーテルが抜けてしまわないように注意して取り扱う							

- 4 :外出時の必要物品がわかる

実施日		/	/	/	/	/	/	/
1	外出先で万一トラブルが発生した場合に備えて、持参する必要物品がわかる CADD-Legacy PLUS 予備のポンプ 単三アルカリ乾電池 2本 メディケーションカセット エクステンションセット コイン 注射針 注射器 フロラン フロラン用溶解液 消毒 衛生材料 保冷剤							

- 5 :ポンプトラブル時のポンプ交換方法がわかる								
実施日		/	/	/	/	/	/	/
1	替えのポンプを準備し設定入力ができる ・使用中のポンプの「スクロール」ボタンで「リザーバ ヨウリョウ」「トウヨソクド」「トウヨズミ」内容を確認し替えのポンプへ設定入力ができる							
2	現在投与中の体内カテーテルとエクステンションセット、 Medikationカセットのクランプを全て閉じる事ができる							
3	トラブルの発生したポンプのカセットを外し、設定した替えのポンプに装着できる							
4	必要時、体内カテーテルとエクステンションセットの接続部を外し「プライム」ボタンでルート内の空気を抜く事ができる							
5	替えのポンプをスタートさせる事ができる							
6	体内カテーテル・エクステンションセット、 Medikationカセットのクランプを全て開く事ができる							
7	ポンプが作動し、薬液が送液されていることを確認できる							
8	対応後、落ち着いたたら在宅医療サービス会社 または医師に報告することができる							
- 6 :体調が悪く自己対応が出来ない場合の対処方法がわかる								
実施日		/	/	/	/	/	/	/
1	必要物品を持って、早急に受診する事がわかる							
- 7 :ACアダプタの取扱い方法がわかる(ACアダプタ使用時)								
実施日		/	/	/	/	/	/	/
1	必要物品を準備できる ・単三アルカリ乾電池 2個 ・ACアダプタ (コンセント用アダプタ)							
2	使用方法が分かる ポンプ左上のねじ切りのついたジャックにACアダプタのジャックを差込み、リングをしっかり締める事ができる ACアダプタを電源に接続できる							
3	ACアダプタを使用する場合でも電池が必要な事がわかる							